

## ○地域商業ウィズコロナ対策支援事業費補助事業を活用した取組事例 〈新橋通商店街振興組合（千歳市商店街振興組合連合会）（千歳市）〉

### ■商店街の概要

千歳市商店街振興組合連合会は、新橋通り、仲の橋通り、ニューサンロード、新川通り、北新、インディアン水車通りの計6振興組合及び任意組織の千歳駅前通り商店街で構成されており、設立は、昭和50年8月16日。

この間、消費者ニーズの多様化や大型店の出店などの影響を大きく受けながらも、各組合と連携し中心市街地の活性化に取り組んでいる。

近年は、新型コロナウィルスの関係で客数が約7割減となることがあったが、緊急事態宣言解除後は、徐々に客足は戻りつつあるものの、昔のような活気は未だ戻っておらず、経営者の高齢化や後継者問題を抱えている。



〔商店街風景〕

### ■活動事業について

例年、7月中旬から8月末まで夏祭りを開催しており、各商店街でイベントを実施。

お祭りのフィナーレを飾るのは、連合会前開催される「市民納涼盆踊り大会」で、中心商店街を踊りや妄想で埋めつくす地域の風物詩となっている。

12月には、1年を締め括る「クリスマスセール」を開催。各商店街で配布される抽選券で、連合会事務局において感染対策に取り組みながら「お楽しみ大抽選会」を開催、現金つかみ

取りや、買い物券等の豪華景品の抽選会場に、毎年、大勢の行列ができています。

令和元年よりイルミネーション事業を開始した。連合会としては、令和2年には国の「GOTO 商店街事業」が採択されイルミネーション事業を開始するも、緊急事態宣言発令のため、すぐにイベントは中止となった。

新橋通、ニューサンロード、新川通商店街合同での事業については、採択後、すぐに中止となってしまったため、独自で取り組んだ。

街の広場や商店街の街頭等にイルミネーションを設置しており、コロナ禍でイベントは中止となったが、多くの家族連れが、光の彩りに季節を感じながら静かに喜び姿を見ることができた。



〔街を彩るイルミネーション〕

### ■近年の出店状況

新橋通商店街では、街区の空き店舗にR3年に3店舗の新規出店があった。ラーメン店2件、ワインバー1件と新型コロナウイルスの影響が長期化する中でも飲食店がコロナに負けず新規オープンを遂げたのは画期的であった。

地域の老舗と新しいトレンドの店舗がバランスよく共存し、幅広い年代に親しまれている商店街である。

